

授業概要

主に文法的な側面から日本語の基本的なルール、運用方法を学ぶ授業である。実際に受講者自身が授業内で書き、考える演習形式で行うことが多くなるので、休まずに出席し、課題をクリアしていくことが必要になる。

文学作品を例にしながらか古典文法も学ぶが、そのことによりよく知られた古典作品を読み、鑑賞できるようになればよいと思う。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	語の表記
第 3 回	文・文節・単語・品詞
第 4 回	品詞分類
第 5 回	文の呼称
第 6 回	修飾語
第 7 回	接続語
第 8 回	助動詞①
第 9 回	助動詞②
第 10 回	助動詞③
第 11 回	助詞①
第 12 回	助詞②
第 13 回	助詞③
第 14 回	敬語
第 15 回	まとめ
第 16 回	定期試験

到達目標

- ①古典文法を含めた日本語の文法についての基本的な知識を得る。
- ②文法的側面から日本語やそれをういた文章表現などについて関心を持つ。

履修上の注意

毎回小テストを行う。一つ一つの段階をクリアしないと次には進めない。したがって欠席するとその分だけ遅れ、単位の取得ができなくなる。欠席しないこと。

予習・復習

予習：前回授業を振り返る。

復習：毎回の授業内容をまとめ、理解の定着を図る。

評価方法

授業内の課題を 50%、期末試験を 50%として評価する。

テキスト

プリントを使用する。